

見え隠れする境界

齊藤 鳥喰は全地区でやったんですか。
勝俣 鳥喰上と新田です。

齊藤 私は思うんですが、となりの地区同志で同じ日に祭りをやって、同じように花火を上げてるんですねえ。もったいないような気がしましたね。お互いに話し合っただけでよかったなあって感じています。みこしや演芸はともかく、花火大会は実現できたんじゃないかな。今は各地区ごとに行っていますが、小さな地区では限界がありますからね。これからは地域がまとまって祭りをやるべきじゃないでしょうか。

司会 祭りの将来像の話が出ましたので、これからの祭りのあり方や夢といったものについて話し合っていたらいいのですが。

齊藤 確かに祭りは大きい方がいいと思います。いろんな人に見に来てもらえますから。地元の祭りはその土地のカラーを大切にしている。夜の部は大舞台を仕立てて各地区が集結するっていうのもいいと思います。坂田池のふれあい広場なんかいいじゃないですか。

木島 我々（昭和会）は、むらづくりという目的で、子どもたちを中心に考えているんです。「今年より来年」という気持ちはありますが、大きな祭りまでは考えていません。

伊藤 中台の演芸は各地区交代で出してもらおうようにしています。各班長さんに任せていますがいまのところ順調ですね。

大澤 祭りは内容が豊富になればなるほど経費

条件反射のピース ▶



台風のと風について
若いエネルギーが燃えた

（東町）

